

市主催講座〈なごや学〉尾張徳川家の殿様

～尾張徳川家の相続と歴代の事績～

なごや学「尾張徳川家の殿様」5回シリーズの講座の第1回を8月18日（木）に行いました。徳川美術館学芸員の並木昌史氏に初代義直から3代綱誠までのお話をいただきました。



初代義直は宮田用水、木津用水を完成させ、熱田新田を開発しました。瀬戸の窯業を保護、御深井焼を焼かせました。義直は、武を大切にするとともに朱子学に親しみました。和漢の書籍収集行い、多くの蔵書を残しました。

2代光友は3代将軍家光の長女千代姫と結婚しました。万治の大火で焼けた城下町を復興したり名古屋ご城下や江戸の屋敷を造営したりしましたが、藩の財政難を招きました。

3代綱誠は千代姫の子どもです。幼少から英明の評判が高かったのですが治世は6年と短いものでした。この時期尾張から著名な学者が輩出しました。



徳川美術館所蔵の「徳川秀忠尾張国一円領地状」や「駿府御分物御道具帳」などの映像をまじえながら、丁寧にお話をしてくださいました。

受講する皆様も興味深く聞き入っていらっしやいました。